

今年度も開催決定！

2022年度 胸部X線を読み解く会のご案内

(通算第24回)

疾患は正常を基盤として展開する。正常構造の概念化でのみ、疾患が引き起こす変化と機序が考察可能となる。

Mr. Chestとは、胸部X線画像の**概念**

伊藤春海

RAP-C

Radiologic Anatomic Pathologic - Correlation

放射線医学(R)・解剖学(A)・病理学(P)の情報を比較・検討し、個々の事象の気づきを積み重ね、
新しい総論・新しい課題を導くCorrelationという作業を通して、螺旋状の進化を実現すること。

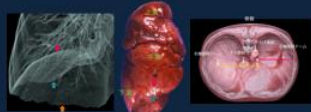
<第一胸椎>

- > 脊椎の生理的湾曲と撮影体位の前傾により、椎体・椎間は描出されない。
- > 椎弓と椎弓板間隙がコントラストを得て横突起の両端が跳ね上がりW字様形態を得る。



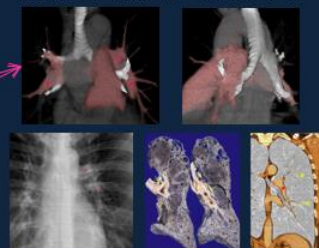
<右肺下縁のコントラスト>

- > 右肺下縁は頭側から、①横隔膜ドーム、②肺下縁腹側、③肺下縁背側の3つのコントラストを持つ。
- > 右の腹側肺下縁内側は中葉がコントラストを作る。



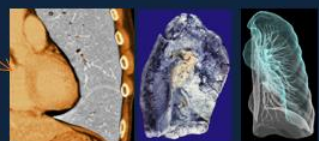
<左肺動脈>

- > 左肺動脈は、左主気管支を腹側から頭側に乗り越え、左上葉気管支の背側を通り、左下葉気管支の外側に沿って尾側に向かう。



<左心陰影>

- > 左心陰影は、上葉でコントラストを得る。
- > 左心影に重なる肺血管影は下葉血管である。



【開催概要】

日時 2023年 2月25日 (土) 14:00～16:30

形式 Web配信

※希望者は、済生会熊本病院 外来がん治療センター4階 コンベンションホールにて視聴可能です。

テーマ 胸部基本構造とその異常(仮)

講師 福井大学名誉教授
岐阜大学 工学部電気電子・情報工学 客員教授
伊藤 春海 先生

参加費 医療従事者:2,000円/医学生:無料

申込URL <https://forms.office.com/r/H9Xdy8ByvT>

締切 2月20日(月)

備考 当院COVID-19対応指針を遵守し実施いたします。

申込締切
延長しました！

(お申込はこちら)



【参加者アンケートより】

- 画像に加え手術写真など添えての説明だったため、臨床での考え方など勉強になった。(医師)
- 画像理解には、CTに加え標本と照らし合わせることで、理解も深まり気づきにつながる事がよくわかった。(看護師)

研修会・講師のご紹介

【本研修会について】

本研修会は、胸部X線読影の基礎を学ぶ研修会として2010年11月より伊藤 春海 先生（福井大学名誉教授、岐阜大学 工学部電気電子・情報工学 客員教授）を講師にお招きして開催しております。

若手医師をはじめとする医療従事者と医学生の方を対象とする研修会です。

胸部X線読影について、ここでしか学べないことがあります！

今年も伊藤先生とリモート接続しての開催となります。

これまで参加された方も初めて参加される方も、ぜひご参加ください！

【なぜ胸部X線読影なのか】

- 将来の専門に関わらず、**医師にとって必須！**
- 認定看護師の教育カリキュラムにも取り入れられるなど、**医師以外の間でもその必要性が高まっている。**
- X線読影は医師だけのものではなくてきている。
医師には、**さらなるX線読影力の向上**が求められる。



【講師のご紹介】

福井大学名誉教授

岐阜大学 工学部電気電子・情報工学 客員教授

伊藤 春海 先生

伊藤先生は世界的に著名な胸部放射線科医です。

各地で読影の研修会を開催されるなど、

教育活動にも熱心に取り組まれています。

セミナーでは、解剖構造に基づくX線所見の理解と読影のポイントを教えていただきます。



【視聴会場のご案内】



済生会熊本病院
外来がん治療センター 4階
コンベンションホール

※お車でお越しの際は、
一般駐車場を
ご利用ください。
受付にてサービス券を
お渡します。

【問い合わせ先】 済生会熊本病院 人材開発室

TEL:096-351-8515